

議会報告会報告書

平成24年5月1日

山陽小野田市議会

議長 尾山信義 様

B班

代表 大井淳一郎

平成24年3月定例議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成24年4月25日（水）19:00～20:30

2 開催場所

厚陽公民館

3 参加人数（市民）

9 人

4 担当班議員名

（大井淳一郎）（中村博行）（山田伸幸）（江本郁夫）
（高松秀樹）（小野 泰）（河野朋子）

5 報告会次第

- (1) 市議会議長挨拶
- (2) 3月議会の報告
 - ① 総務文教常任委員会
 - ② 民生福祉常任委員会
 - ③ 産業建設常任委員会
 - ④ 一般会計予算審査特別委員会
- (3) 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

- ① 医療費の自己負担が3割から5割になるという話は本当か。

[回 答]

そのような事実は確認していない。

- ② 病院バスの運行について、無料にならないか。

[回 答]

病院バスの運行は山陽中央病院の閉院に伴いとられた措置である。今後なるべく市民の負担にならないよう、はたらきかけていく。

なお、通院バスなら無料となるが、路線バスなら料金が発生する。

- ③ 山陽地区の公共施設を再編整備するとのことだが、厚陽地区や出合地区についても考えてほしい。

- ④ 国保の未納について、回収方法はどうか。

[回 答]

収納率については約90%である。国保料が高いため支払いができないケースもある。担当課が粘り強く取り組んでいる。

- ⑤ 厚陽小中学校についてグラウンドが狭いことや、プール使用の問題などどうなったのか。

[回 答]

プールについては当初小学校のプールを使用する予定だったが、改修となると経費の面から難しく、中学校のプールを使用することになった。学校側の説明では複数学年での使用なども考えているとのことだが、開校してまだ日も浅く細かい点について十分方針が決まっていないようだ。

- ⑥ 路線バスについて、高齢者に対応するため、通院や買い物に小さなコミュニティバスで便数を増やしてほしい。

[回 答]

産業建設委員会でデマンド交通について美祢市に視察に行く予定である。ぜひ本市にも採用してほしいと考えている。

- ⑦ 公民館の会議室が2階にあり、不便である。

[回 答]

以前市長より各公民館にエレベーターを付けると答弁があった。

⑧ 住宅リフォーム制度について、なぜ予算化しないのか。

[回 答]

議会としても要望してきたが実現していない。補正予算で計上できるよう委員会として取り組みたい。

国の補助金で始まった事業であるため、補助がなくなった時点で予算がつかないということになった。事業については財源が一般財源であるため、評価が低くなっている。

⑨ 教育委員の公募について、医師であることや子どもの教育に造詣の深い人など条件が付けてあるが、公募ととらえてよいのか。

[回 答]

公募である。

⑩ 公民館の館長について民間人を採用しているが公金を扱う仕事を臨時職員がしているのはどうか。公民館は社会教育の場でもあり、職員の研修の場にすべきではないか。

⑪ 地籍調査の担当者が道路の上に境界線を示したことによって、道路上に塀を作られ、袋小路になってしまい、近隣住民が迷惑している。その道路については下に下水道が通っているが農道なのか明確ではない。